

- ☑ 最優秀未来へのはばたき賞 受賞
- ☑ 事業活動報告
ゼロエミッション研究会
- ☑ 事業活動報告
森林保全活動 日向の森



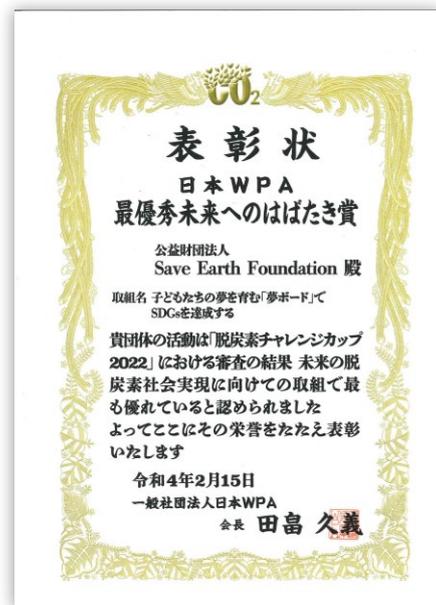
トピックス

脱炭素チャレンジカップ2022 日本WPA最優秀未来へのはばたき賞 受賞!!

この度、地球温暖化防止ネット主催「脱炭素チャレンジカップ2022」にて、「脱炭素チャレンジカップ2022 日本WPA最優秀未来へのはばたき賞」を受賞しました。世界で気候変動問題が年々深刻化する中、日本においても2050年に脱炭素社会の実現に向けて、温室効果ガスを減らす取り組みを推進しています。地球温暖化防止ネットでは、チャレンジカップを開催し、脱炭素の加速を図っています。

受賞内容 子供たちの夢をはぐくむ「夢ボード」でSDGsを達成する

森を再生するために行う間伐作業によって発生する国産材は大切な資源です。この資源を活用することは森の手入れにもつながり、森の再生に貢献します。SEFでは、この国産材の利活用の一つとして「夢ボード」を提供しています。夢ボードは、学校の勉強机のカバーで、入学と同時に一人ずつ渡し、裏面には毎年「夢」が記入できるようになっています、卒業時には記念品として贈ります。長く大切に使用することで、CO₂の固定にも繋がります。



①森林自然観察や林業体験のESDを実施



②夢ボードを制作



③入学時にお渡し、裏面には夢を記載



④卒業時には、記念盾にして贈呈



ゼロエミッションの実現に向けて、食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正処理の手法を学ぶ場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

1月20日 第5回 勉強会

プラスチック資源循環促進法と食品リサイクル・廃棄物処理に関する最新の動向

環境関連法の専門家 佐藤 泉 弁護士

一般廃棄物と産業廃棄物の区分から、資源循環・廃棄物処理の法体制の基礎知識など、法改正の傾向や4月に施行されるプラスチック資源循環促進法について解説いただきました。廃棄物とは、昭和46年の法施行時では客観的に不要物として把握できるものから、昭和52年には総合判断説(自ら利用し、又は他人に有償で譲渡することができないために、事業者にとって不要になったもの)に変化した等、その時代ごとに定義が変化していることを説明いただきました。

3月17日 第6回 勉強会

食品ロス及びリサイクルについて

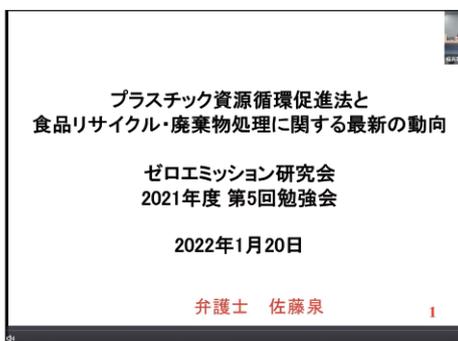
農林水産省大臣官房 新事業・食品産業部
食品ロス・リサイクル対策室 森 幸子室長

食品リサイクル推進・食品ロスの削減について

環境省 環境再生・資源循環局 総務課
リサイクル室 小早川 鮎子 室長補佐

2021年度最後の勉強会は、特別講演として農林水産省の森室長と環境省の小早川室長補佐から、食品ロスやリサイクルについて講演いただきました。

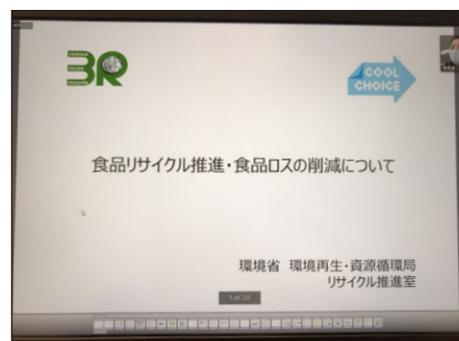
ドギーバックに変わる新たな名称として選定された「mottECCO(もってこ)」の事例では、株式会社セブン&アイ・フードシステムズとロイヤルホールディングス株式会社との食品ロスと脱プラ両立プロジェクトを紹介され、競合他社と協働で行う事で多くの市民への食品ロス・持ち帰りの普及を図っている旨をご紹介いただきました。



第5回 勉強会



第6回 勉強会
農林水産省 森室長(左から3番目)



第6回 勉強会
環境省 小早川 室長補佐

2022年度ゼロエミッション研究会 参加者募集

【日程】全6回

- 第1回 5月19日(木)
- 第2回 7月21日(木)
- 第3回 9月15日(木)
- 第4回 11月17日(木)
- 第5回 1月19日(木)
- 第6回 3月16日(木)

【勉強会 会場】ワタミ株式会社 東京(大鳥居)本社

【参加費】70,000円

- ※賛助会員(民間団体)は無料
- ※別途:見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

【講師】

- ・百瀬則子氏
(SEF業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)
 - ・志岐秀明氏
(SEF理事、株式会社ガイアドリーム代表取締役)
 - ・牛久保明邦氏
(SEF顧問、東京農業大学名誉教授)
- ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

★概要をご確認のうえ、SEF ホームページからお申込みください。 <https://save-earth.or.jp/archives/8599>

森林再生事業 活動報告

日向の森で森林保全活動を実施しました！ ～累計 96 本の間伐作業終了～

日向の森・海上の森で森林保全活動
※2022年1月～3月

活動日	場所	イベント	参加人数(スタッフ除)
1月	8日	日向の森	定例保全活動 6名
	22日	日向の森	定例保全活動 11名
2月	12日	日向の森	定例保全活動 8名
	26日	日向の森	定例保全活動 12名
3月	5日	海上の森	森の健康診断 スタッフのみ
	12日	日向の森	定例保全活動 8名
	26日	日向の森	定例保全活動 10名

2022年3月末までの累計(スタッフ除)

日向の森 **256名** 海上の森 **28名** 東御の森 **10名**



間伐した材と一緒に(日向の森にて)

◎千葉県山武市「日向(ひゅうが)の森」

11月～2月にかけて、8年前に植樹したエリアの間伐作業を行いました。累計、96本の間伐作業を終了することができました。植樹当初の木は1mほどですが、8年を経て大きく成長し、7～8mほどあります。林内はうっそうとして薄暗いため、下草などの植物はあまり生えていません。間伐を行うことにより、生育の良い木の成長を促し、明るい森になるように作業を行いました。



1 受け口作り



2 その後、追い口を作り、皆で押します(間伐)



3 木を倒すことができました



4 全員で枝を落として林外へ搬出



林外へ搬出



2mごとに切り、太さごとに積み上げます



間伐前の暗い森



間伐後には太陽の光が入る森になりました



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたり感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

<2022年4月～6月の活動予定>

※引き続き、2018年の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

●千葉県山武市

4月9日(土) 定例活動 4月23日(土) 定例活動

5月14日(土) 定例活動 5月15日(日) 植樹祭

5月21日(土) 定例活動 6月25日(土) 定例活動

※その他地域での活動予定については、SEF ホームページをご覧ください。

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶▶ <https://save-earth.or.jp/event>

賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・食品リサイクルループ構築支援 ・「企業の森づくり活動」支援 ・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導 ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1 □	500,000 円
個人	会員区分 年会費	賛助会員	1 □	50,000 円
		資源循環サポーター	1 □	50,000 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	50,000 円(森林再生事業に用途を限定)
		会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 ・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行 	
		賛助会員	1 □	10,000 円
		資源循環サポーター	1 □	1,200 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	1,200 円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

